



そら通信



Shine Our Life Anytime 「そら (Sola)」

「いつも光り輝く暮らしを」「いつでも私たちの暮らし・命を輝かせ、輝かす場」

2019年1月15日発行 (No. 14)

発行 社会福祉法人コスモス

総合生活支援センターそら

堺市南区榎202-9

TEL 072-349-8621

FAX 072-349-8622

メール sola@sakaicosmos.net

発行責任者 戸島 純子

❖ 施設からのご挨拶 ❖

みなさま新しい年を迎え、本年もどうぞよろしくお願いいたします。冷え込みも厳しくなってきました。空気も乾燥し、インフルエンザも流行っていますね。あたたかくして水分補給し、ご自愛ください。

さて、1月といえば成人式。障害のある人が安心して参加でき、みんなで祝福できる「成人のつどい」を長年実行委員会形式で開催し、今年で第36回目となりました。堺では、障害者作業所の職員と支援学校の教員が実行委員会をつくり、準備をおこない、今年は1月12日(土)にファインプラザ大阪にておこなわれました。今年は25名の新成人が参加されました。ご家族・ヘルパー・作業所の先輩の仲間・職員・支援学校の先生方がつどい、会場いっぱいのおつどいになりました。一人ひとりの新成人が舞台上で自己紹介と所属作業所や就職先でどのような仕事をしているかを発表し、アトラクションも会場全体が参加のできる内容で、手づくりの「成人式」です。プログラムの最後は、毎年新成人の代表の人が「はたちのちかい」を発表されますが、実直なその内容は会場につどった一人一人が勇気をもらうような気持ちになります。第1回目からこの成人式のためにオリジナルでつくられた「ぼくの成人式」という歌を歌い続けています。今年も新成人のみなさんからフレッシュな力をもらいました。ともにがんばりたいと思います。

❖ 各事業からの報告&とりくみ ❖



ケアプランセンターせんぼく(相談支援事業)

新しい年を迎えました。本年もよろしくお願いいたします。

ここ数年、利用者自身が高齢期を迎え、身体の変化や「～したい」という意向の変化が見られます。私たち相談支援専門員も、支援とは、ずっと同じようにするものではなく、一人ひとりの今の希望や状況に合わせて変化させていくものだと感じています。

65歳を過ぎると、介護保険利用も検討されます。制度としては「障害者から高齢者」へと変化していくのです。希望する生活や、家庭環境の変化、制度の変化を見つめ、情報共有の会議や学びの場で、学び、感じ、経験し、相談しあいながら、その人らしく生活するこれからの支援について考えていきたいです。

ケアホームせんぼく

謹賀新年

今年もどうぞよろしくお願いいたします。

年末年始をグループホームで過ごされる方もおられます。

元旦は、総合生活支援センターそらに集まり、お正月取り組みとして皆で初詣にでかけ、おせちをたべて、共に新年を喜び合いました。今年も健康でござえますように。



ショートステイそら(短期入所)

12月最後の現場会議では、人権についてミニ学習の機会がありました。気を付けているつもりでもとっさに出てしまう、くだけた話しかけ方・呼称についても、対利用者さん・対職員同士問わず、人権意識を感じる場面があることの振り返りができました。また、意見交換を進める中で、情報共有のつもりで関係機関と小さなメモでやりとりする際、メモの渡し方によっては、もしかして「情報に関係ない方＝不特定多数の方にも、メモを読めってしまう環境にしているのではないかな?それは人権侵害をしていることにならないかな?」等々、ふだんの何気ない場面の中から新たな気づきも生まれ、とても有意義な時間となりました。

今年度は、これまで以上に丁寧なことば使いや伝え方を意識しあえるショートステイでありたいと思います。



ヘルパーステーションせんぼく

毎年恒例のヘルパー忘年会を昨年も12月15日18:30～「そら多目的ホール」にて行いました。体調不良等により例年よりも参加者が少なかったですが、鉄板料理や豚汁等の手作り料理を堪能したり、トイレットペーパー積み競争に全員が参加して例年以上に盛り上がりました。後半は職員がハーバリウムの先生となり、ハーバリウム教室を開きました。参加者各々ビンの中にドライフラワー等の飾りを入れオイルを注ぎ込み、色鮮やかな作品がたくさん生まれました。いつもと違った形での忘年会でしたが、みんなが真剣に取り組み、出来上がった際の笑顔が溢れる良い交流の機会になりました。



☆そらからの、研修や地域行事に参加してのご報告☆

11/17 (土) 「ちょっくらわくわく祭り」に参加して

総合生活支援センターそらとして参加して4度目の今年は、「白玉入りぜんざい」を販売しました。当日は、雨の予報で心配していましたが、この日を楽しみにしていた皆の気持ちを通じたのでしょうか、秋晴れの日となり、大勢の方が来場されていました。そらのブースには思わぬ助っ人として、そらの利用者さんも立って下さり、お買い上げ下さった方々からは「あま〜い!」「おいしかったよ」「塩を入れたらもっとおいしいよ」等、お声をいただき、お客様と一体になった感じがして、おまつりを楽しめた一日でした。来年も出店しますので、ぜひご来場ください。



12/12 (水) 人権学習を開催しました

2018年12月12日に「そら」の職員全体で、元堺市職員を講師として招き、人権について学習会を行いました。行政の立場と福祉現場の立場ではそれぞれの役割がありますが、見るべき視点は同じでなければならないこと、相互の歩み寄り（ゆずったり思いやりを持って認め合う事）が大切であること。常に相手の立場に立ち、思いやる事を大切にすべきである。という講師の方の経験も語ってくださり、個人的な感想として、学習会に参加し福祉職員として利用者の姿や行動をどうとらえ、尊重すべきか、どう関わるべきなのか? 「支援する側」という一方的な見かたをしていないか? 等をあらためて考える機会になりました。



12/26 (水)、27 (木) 救急救命講座を開催しました

26日は、おおはま消防署より救急課の職員お二人をお招きし、救命救急に対する心がけやAED方法や応用方法等いろいろと教えていただきました。27日は、そら職員2名が講師となり、救命学習を行いました。(講師役の職員は、応急手当指導員の資格をもっています)

